

# 週 報

1990年5月27日 復活節第7主日

卷 11

9号

1990年度教会主題

「新会堂を献げる」

聖句 それは、地面を深く掘り下げ、岩の上に土台を置いて家を建てた人に似ている。洪水になって川の水がその家に押し寄せたが、しっかり建ててあったので、揺り動かすことができなかった。

ルカによる福音書 6章48節

- 目標
1. 生活を整えて礼拝、諸集会を守る。
  2. 新会堂を完成させていく。

日本キリスト教団 横浜港南台教会

会 堂 〒233 横浜市港南区港南台 7丁目-8-29

電話 045-833-5323

振替 横浜 9-13994

牧師宅 〒235 横浜市磯子区洋光台 5丁目-6-3-304

電話 045-833-6616

牧師 秋 吉 隆 雄

明かしをしたいと私なりの努力をしてきた。「ものみの塔」の人が私に教えようと大上段に語りかけることにいささか腹が立つ。しかし、律法学者のような高慢はいけないと謹んでいる。

今は第三次宗教ブームと言われている。ご利益宗教は昔からあったが、最近は問答無用の権威主義的な言葉とオカルト風の神秘主義がもてはやされている。私はこれを危険に思う。その人の個性を抹殺し、権威の中に閉じ込めることは人間冒瀆である。又、理性を否定し、訳の分からぬ神秘主義への埋没は人間放棄である。イエス・キリストは「あなたらしくあれ」と受け入れ、愛してくださっている。福音は他の人とは替えられない個々人の尊厳の宣言である。時代が不安になればなるほど、心のよりどころを求める。しかし、権威主義や神秘主義には人を生かす真理はない。私の説教も一人一人が主体的に受け止めてほしいと願っている。そうすることによって共に立つからである。

## —牧師室から—

上郷の家庭集会はルカ福音書を学んでいる。イエス・キリストは「杯や皿の外側はきれいにするが自分の内側は強欲と悪意に満ちている」と偽善的な律法学者を激しく弾劾している。福音書の一つのテーマは宗教の専門家である律法学者が神と信仰について全く無知蒙昧であったということである。聖書はそれを「家を建てる者の捨てた石、これが隅の親石となった」即ち、律法学者が不要として捨て去ったイエス・キリストが教会の土台となられたと記している。

私は6年間、神学教育を受け、23年、牧師をしてきた。いわばキリスト教の専門家である。信仰の確信を得たいと求め続け、又、この時代に語りかける聖書の説き